



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.10.18 (金)

No. 67

文責
松永

総合的な学習の時間の取組として… 四年生



今年度の4年生の総合的な学習の時間のテーマは、「大江発！めざせ心のバリアフリー」です。その学習の一環として、熊本県身体障がい者福祉センターからおいでいただいて、疑似体験学習を行いました。10月1日と3日の2日間に分けて、各学級1時間ずつ二人組で2つの体験をしました。一つは、一人がアイマスクを付けて目が見えないという立場になり、もう一人はアイマスクを付けた友達が安心して歩けるように声かけやリードをする役割を担当しました。白杖を持っている方に、「何かお手伝いできることはありませんか？」と声をかけるタイミングや介助をする際の手の置き方など、説明がありました。実際に、アイマスクを付けてみると一歩を踏み出すことも不安になったようで、「前が見えなくて怖いです」という声が聞かれました。マットの数cmの段差でも、つまづきそうになります。事前の「段差がありますから気を付けてください」「右に曲がります」と言った介助する人の声が頼りになるわけです。その声を聞きながら、ゆっくり足を進めていました。



もう一つの活動は、高齢者の疑似体験です。関節を固定して動きにくくする装具や、自然と前かがみの姿勢になるおもりの入ったベストなどの専用の装具を装着して、体育館のステージの階段の上り下りを体験してみました。「関節が曲げづらくて段差が怖かった」「視界が狭くなったことで、まわりの動きに気付くのが遅くなる感じがした」といった感想が聞かれました。生活の中で不便さや大変さがあることを感じることができました。こうした疑似体験は、障がいをもつ人やお年寄りの立場になってみることで、自分にできることや取組を考えるための体験…と聞いたことがあります。今回の体験を通して学んだことを、実生活に活かしていくことが大切です。日常生活の中でも、誰もが過ごしやすいように、自分自身にできることを考えて生活してほしいと思います。引き続き、相手の立場に立って考え行動できるように学習を深めてほしいと思います。



運動会の練習をがんばっています！



10月というのに日中は気温が高くなっています。子どもたちは、今月末の運動会に向けて練習をがんばっています。全体練習も始まっています。疲れがたまらないように、週末の過ごし方に気をつけてあげてください。